

## 施策の評価

施策の柱

柱④

心の教育改革～いじめ・不登校等対策～

### 1. 個別事業の目標達成状況

個別事業No.・名称	担当課	目標達成度	検討項目
22 教育相談体制充実費	人権教育課	B	イ,エ
23 温かい学級づくり応援事業	人権教育課	B	
24 不登校・いじめ等対策小中連携事業	人権教育課	C	イ,エ,オ
25 幼少期における感動体験モデル事業	生涯学習課	B	
26 青少年センター主催事業	生涯学習課	B	
27 幡多青少年の家主催事業	生涯学習課	A	
28 若者の学びなおしと自立支援事業	生涯学習課	C	エ
29 市町村支援事業費	生涯学習課	B	イ
30 子どもの読書活動推進総合事業	生涯学習課	B	
31 学校図書館支援員配置事業	小中学校課	B	

### 2. 施策の評価

総合評価	施策の主な目標	目標達成度	判断理由
<b>B</b>	① 児童生徒理解の徹底と相談体制を充実させる。	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ スクールカウンセラー、心の教育アドバイザー等の配置においては、各市町村のニーズに応えることができた。(事業22)</li> <li>◆ Q-Uの実施及び分析についての理解は進み、児童生徒や学級の状態を客観的な資料を踏まえて見取ることができるようになった。(事業23)</li> </ul>
	② 中1ガイダンスや仲間づくりの取組を通して、中1ギャップの解消を図る。	<b>C</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 平成21年度は、中1ガイダンスの充実や人間関係づくりプログラムを行うことで、委託4市の不登校児童生徒数は平成20年度より減少させることができたが、県全体では目標を達成できなかった。(事業24)</li> <li>◆ 集団宿泊訓練後のアンケートでは、引率教員からは学級経営や生徒への効果、生徒からは仲間づくりについて、高い評価が得られた。また、施設側の活動内容の検証(効果的な宿泊日程やプログラム策定など)も行うことができた。(事業26、27)</li> </ul>
	③ 親子での様々な感動体験を通じて、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育む。	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 森・川・海の自然体験やそれに絵本を組み合わせた体験プログラムを実施することにより、徐々に体験活動の場が広がるとともに、指導者研修会終了後、体験活動の支援をするようになった参加者もあり、指導者養成も進んでいる。(事業25)</li> </ul>
	④ 中学卒業後進路未定者及び高校中途退学者の高校への進学や学校復帰、就労などの自立を進める。	<b>C</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中学校卒業生時及び高校中途退学時進路未定者を若者サポートステーションへ誘導する仕組みを構築し、市町村や高校への働きかけを行ってきたが、新規登録者は5人であった。また、進路決定率も目標を達成できなかった。(事業28)</li> </ul>
	⑤ 子どもの読書環境の整備と、読書時間の増加や質の向上を目指す。	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 公立図書館のない13町村に、子どもの読書活動支援員を配置することにより、公民館図書室の機能が向上するとともに、読書環境の整備が進んだ。また、「読書の質」の向上を目指した各種事業に目標を上回る参加があり、中学生を対象とするブックレビューは、マスコミヤ書店と連携した取組に発展した。学校図書館についても、利用率の増大や蔵書整備、利用冊数の向上など活性化は図られている。(事業29～31)</li> </ul>

### 3. 今後の方向性

- ◆ 子どもたちの自尊感情や規範意識などの醸成及び自他を大切にすることの育成を目指し、子どもへの支援、予防のための体制の充実を図る。
- ◆ 平成20年度と比較して、県内の不登校の児童生徒数は減少したが、依然として全国より高い水準にある。また、中卒や高校中途退学の進路未定者は、ニートや引きこもりなどの社会的な弱者に陥りやすい。ケースごとの個々への施策と、全体に共通する施策を引き続き整理しながら対応していく必要がある。
- ◆ スクールカウンセラー等の配置拡充と電話相談の充実を図るとともに、様々なケースに対応するためスクールカウンセラー等の人材育成と人材確保に努める。
- ◆ Q-Uの分析結果を日々の授業改善や人間関係づくり等、具体的な取組に活かしていけるよう学校、学級を支援していく。
- ◆ 平成22年度は国民読書年であり、官民協働での啓発活動に取り組み、子どもの読書活動を推進していく。